

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2026 年 1 月 15 日(木)15:30～17:00 懇談会

1. 挨拶

— 関 雄二 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

資料1

3. 特別展「シルクロードの商人^{あきんど}語り—サマルカンドの遺跡とユーラシア交流—」

資料2

「商人^{あきんど}」の活動に焦点を当てながらシルクロードを行き交った文物を展示することで、過去から現在に至るまでの中央アジアにおける文化の多様性や、広範な交流・交易の実態を紹介いたします。



出土直後の女神ナナの頭部
(日本・ウズベキスタン共同調査隊提供)

会 期：2026 年 3 月 19 日 (木) ～ 6 月 2 日 (火)
会 場：特別展示館
観覧料：一般 1,200 円、大学生 600 円、高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください
※本館展示もご覧いただけます

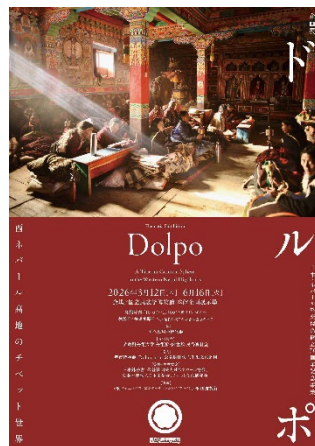
— 寺村 裕史 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 企画展「ドルポ——西ネパール高地のチベット世界」

資料3

ドルポとは西ネパールのドルパ郡の北に広がる高地のことです。本企画展では、ドルポをくまなく歩いてきた美容師・ドルポ探求家・写真家、稲葉香の珠玉の写真と、川喜田二郎が率いた探検隊や田村善次郎が率いた調査隊が収集した民具などを展示し、ドルポの現在と変容の軌跡を探ります。

会 期：2026 年 3 月 12 日 (木) ～ 6 月 16 日 (火)
会 場：本館企画展示場
観覧料：一般 780 円、大学生 340 円、高校生以下無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください
※本館展示もご覧いただけます



— 南 真木人 (超域フィールド科学研究部 教授) —

5. 最新の研究紹介

『人類基礎理論研究部言語情報学研究ユニットの設置について』

科学研究費助成事業の国際共同研究加速基金（国際先導研究）「『時空言語学』の創成：地理と歴史を融合した言語の変化と発展への新たなアプローチ」によって、言語変化を時間軸と空間軸の両面から分析する「時空言語学」という新たな研究分野を確立することを目的として、研究ユニットが設置されました。

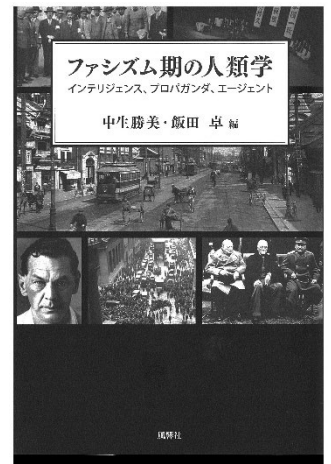
— 菊澤 律子（人類基礎理論研究部 教授） —

6. 最新の研究紹介

資料4

『ファシズム期の人類学—インテリジェンス、プロパガンダ、エージェント』

科学の発展の道筋は、社会状況を反映してさまざまなかたちをとります。本書は、ファシズム期に各国が展開した科学政策に関連して、民族学（人類学、民俗学）分野でどのような変化が生じたかを広く深く論じたものです。



— 飯田 卓（超域フィールド科学研究部 教授） —

※その他の配布資料 外国人研究員受入一覧（資料5）、刊行物報告書（資料6）



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp